

鼓童の舞姫 小島千絵子の世界

ゆきあひ

清姫 きよひめ



「道成寺もの」としてよく知られる安珍清姫の物語を題材に、
舞踊と太鼓、弦の響きと笛の音に衣ずれの
鼓童にも綾に織りなす夢幻の舞台へ。

2012年 5月16日 水

開場 18:00 開演 18:30

アミューズメント佐渡 はまなすホール

前売 3,000円 (当日 3,300円) 全席自由

学生 (小・中・高) 2,000円 (当日 2,300円)

未就学児童の入場はご遠慮ください。

お問い合わせ=鼓童文化財団 ☎0259-81-4100

主催=公益財団法人 鼓童文化財団

協力=Jazz Dance Studio PAL

出演 小島千絵子 (踊り・太鼓) 木村俊介 (笛・三味線)

池上眞吾 (箏) 西田ひろみ (バイオリン)

池田安友子 (パーカッション) 西野貴人 (太鼓)

構成・演出=小島千絵子 (鼓童) 音楽監督=木村俊介

境界剪画 (切り絵)=杵淵三朗 衣装デザイン=時広眞吾

写真=宮川舞子 G.デザイン=奥川里美



ゆきあひ

「行く」と「逢う」、二つの言葉が一つになって「ゆきあひ」。鼓童の舞台に入りきれない、自分自身の表現を探して、いろんな場に行き、いろんな人に音に逢いたい。その中で新しい自分と出逢いたい。そのような願いを込めて「ゆきあひ」というテーマでのソロの活動を行っています。佐渡は私にとって旅の出発の港であり、還る島であり感性を呼び覚ます聖地として此処に在り続けます。この度、育んで下さった佐渡の島や皆さまへ、35年の蝸牛の歩みで得た一輪の花の舞台をご覧頂ける事、大変嬉しく存じます。ゲストの方々のお話を観るよくな音世界や、シーンを語る美しい衣装の数々と共に、精一杯演じて参ります。

演者の願いを襲ねて、清姫の清い心を清いままに、蛇身に、そして龍神に。

小島千絵子

踊り・太鼓◎小島千絵子 こじま ちえこ

1976年佐渡に渡り、当時の鬼太鼓座に入座。民俗舞踊の世界に出会う。1981年の鼓童創設に参加。以後、数少ない女性メンバーとして太鼓中心の舞台の中で、独自の舞踊の世界をきりひらいて来た。また、鼓童の舞台とは別に、歌と踊りを中心とした女性三人のユニット「花結」や、ソロでのパフォーマンス「ゆきあひ」では鼓童以外のアーティストとの出逢いの中から、新たな表現の発露を求め、意欲的に活動の場を拡げている。坂東玉三郎演出・主演の「アマテラス」ではアメノウズメを演じ鮮烈な印象を残した。最近では国内外でワークショップやグループへの指導を通じて、「伝える」作業に向き合い始めた。



篠笛・三味線◎木村俊介 きむら しゅんすけ
和楽器奏者(笛・神楽三味線他)として活動する一方、作曲・音楽監督を行う。自作曲によるコンサート活動では、心象風景や心の動きをモチーフとした音楽で独自の世界を展開している。また、日本各地の神楽・祭礼など、民俗芸能を取材して歩き、古くから伝わる魔法やリズムを学び、それらを用いた創作活動を行っている。童謡「アマテラス」に楽曲・詞を提供。国内ほか、アジア、ヨーロッパ、北米での活動も展開している。



箏◎池上眞吾 いけがみ しんご
東京芸術大学邦楽科卒業。NHK邦楽技能者育成会修了。箏、三絃、胡弓奏者として、伝統的な古典曲からジャズや民族音楽など他ジャンルとの共演まで、国内外にて幅広い演奏活動を行なうと同時に、和楽器を中心とした作(編)曲活動もこなし、作品委嘱も多い。現在、自身の作品集CDをはじめ多数の録音に参加。また、箏のテキスト、指導用ビデオ製作にも参加。各種コンクール審査員も行なう。



バイオリン◎西田ひろみ にしだ ひろみ
上野学園大学音楽学部卒業。江藤俊哉、藤崎功子、竹内茂氏に師事。在学中、微分音グループ「シジジーズ」を結成。作曲家冷水ひとみと共にTZADIKレーベルよりCDリリース、ライブ活動、TV番組、CM等の音楽制作に携わる。スタジオワークにも多数参加。1995年～1998年カイロに滞在し、アラブバイオリンをアブドダギールに師事。現地のミュージシャンと多数共演。現在は邦楽器との共演も多くジャンルを超えたバイオリン奏者として数々の国内、海外公演に参加している。



パーカッション◎池田安友子 いけだ あゆこ
大阪芸術大学演奏学科卒業。ストックホルムジャズフェスティバル等の海外公演、かわちながの世界民族音楽祭、瀬戸内国際芸術祭への出演や、Fried-Prideなど様々なアーティストのライブサポート、NHK Eテレ「シャキーン!」のレコーディング参加など、ジャンルや国内外を問わず、演奏活動を展開している。またライブペインティングや舞踏家とのパフォーマンス、ワークショップも各地で行っている。パーカッションパフォーマンス「Beat JACK」「コレレピート」各メンバー。



和太鼓◎西野貴人 にしの たかひと
小学生の時、コンガ奏者の古谷哲也氏に教わることから打楽器の音に魅せられ影響を受ける。和太鼓の指導者だった父親の元、演奏活動を始める。1994年、「鼓童」の研修生として佐渡に渡り、1997年～2000年までメンバーとして国内・海外公演・CD制作に参加。退団後は和太鼓ユニット「BURAI」を立ち上げ、関西を中心に活動。和太鼓の持つ音楽性の幅を追求する為、ソロ和太鼓奏者としてもジャンルを問わず様々な公演に参加している。



衣装デザイン◎時広真吾 とときひろ しんご
「文学的な叙情」と評される時広真吾の衣装。独自の感性で生み出すスタイルは、国内外の舞台で高く評価されファンも多い。1985年にオフィスリリック設立。1991年にモーツァルトの「魔笛」より、舞台衣装デザイン開始。以降、新潟市りゅうとび音楽堂シェイクスピアシリーズ、ヨーロッパ5カ国の演劇祭、アジアでの衣装展ワークショップなど幅広い分野で活躍する。デザイナー、写真家、詩人、パフォーマーをこなし、海外ではオールラウンド・アーティストとして評価される。2009年鼓童「うぶすな」公演にて手掛けた衣装は多くの観客を魅了した。